

2024年度入試

# 入学試験問題集

【国際学部 国際学科】



東京成徳大学

TOKYO SEITOKU  
UNIVERSITY

# 目 次

総合型選抜 9月入試 小論文 .....	1
総合型選抜 10月入試 小論文 .....	2
総合型選抜 12月入試 小論文 .....	3
学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試） 小論文 .....	4
国際学部特待生入試 英語ライティング .....	5
一般選抜 D日程入試 総合型問題（学部学科別） .....	6
出題意図.....	7

「一般選抜 A 日程・B 日程・C 日程」の問題は、  
「2024 年度入試問題集 一般選抜 A 日程入試・  
B 日程入試・C 日程入試」に掲載しています。

# ●総合型選抜 9月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 下線部「本末転倒の姿勢」とは、具体的にどういったことか、50字以内でまとめなさい。
- 問2 本文中のバングラデシュ人留学生が筆者に対して答えた“Maybe.”や“I don't know, but I will try.”は、彼のどのような意思を表していると考えられますか。その背景とあわせて80字以内で説明しなさい。
- 問3 筆者の言う「世界諸英語（国際言語としての英語）」とはどのようなものですか。また、それについて、あなたはどのように考えますか。全体で400字程度で述べなさい。

英語教材や英会話学校の広告等に典型的に見られるように、これまでの英語学習では、「英語を話すときには、日本的な発想を捨てて英米人のような発想で話す」ことが前提となっています。しかし、これは根本的に本末転倒の姿勢です。自分の考えを表現するために英語を学ぼうとしているのに、自身の思考を放棄してしまったのでは、いったい何を相手に伝えようというのでしょうか。

このように言うと、しょせん日本語でなく外国語なのだから仕方ない、というあきらめの声も聞こえてきそうです。確かに英国や米国の言語として英語を学ぶのならそうならざるをえないところですが、しかしわれわれが習得しようとしているのは世界諸英語、つまり「国際言語としての英語」（本名、2013）です。世界諸英語は、その使用者の文化に合わせて変容し、母語話者だけでなく非母語話者の思考様式の表現手段として機能するのです。私の経験からこの具体例を挙げてみます。

自分が以前、「百万人の英語」というラジオ英語番組の講師をつとめたとき、母語話者だけでなくさまざまな国からのゲストを招いたのですが、私が出演交渉をした際のバングラデシュ人留学生の承諾の返事がまさに世界諸英語のひとつでした。私は、いわば往年のタモリさんの番組のせりふのように、“Could you come to the studio next Wednesday?”（来週の水曜日にスタジオに来ていただけますか）とたずねたのですが、母語話者をモデルとする英会話ならばそれに対する承諾の返事は“Sure.”や“Certainly.”などとなるところですね。ところが、このとき、彼はまず“Maybe.”と答え、さらに“I don't know, but I will try.”（わかりませんが、努力します）と付け加えたのです。この人は日本のラジオ番組に出演することにあまり気乗りがしなかったのでしょうか。いえ、実はこれは承諾の意思表示だったのです。どういうことでしょうか。

この若者は、ほかのバングラデシュの人びとの多くと同じく、イスラム教徒でした。そして、イスラム教の信仰では、未来は人間の力が及ぶ領域ではなく神アラーの掌中にあると考えられています。「自分はぜひラジオに出演して母国の話を日本の皆さんに聞いていただきたいと思いますが、それが実現するかどうかはアラーの御心のみですから、自分としては約束をすることはできないのです」と彼は説明してくれました。敬虔なイスラム教徒のこの学生としては、“I don't know, but I will try.”が精一杯の表現だったわけですが、逆にいえば、実質的には快諾の返事であったといえます。実際、収録の当日、彼はおめかしして、意気揚々とスタジオに現れ、母国のさまざまな側面についてラジオで語ってくれました。

文化人類学者のマーガレット・ミード（Margaret Mead）がかつて論じたように、清教徒の流れをくむキリスト教文化の根付く米国には、未来は、神の助力を得ながらも人間の努力によって決まる（Mead, 1965）という伝統的な価値観が存在します。この意味では、アメリカ英語での承諾の返事が“Sure.”であるのは自然なことです。しかしこのバングラデシュ人は、米国文化に基づくアメリカ英語の表現で妥協することなく、非英米的な英語のみごとに自らの世界観を表現したわけです。英米の枠を越えた世界諸英語は、このように使用者の文化に合わせて変容します。それによって、非母語話者の思考を表現する手段として機能するのです。

出典：本名信行・竹下裕子編著『世界の英語・私の英語 多文化共生社会をめざして』桐原書店、2018年

# ●総合型選抜 10月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 下線部1「正解」とあるが、この事例における正解とは具体的に何ですか。16字以内で答えなさい。
- 問2 下線部2「動画」とはどのような動画ですか。35字以内で答えなさい。
- 問3 ネット情報の利用におけるリスクについてあなたはどのように考えますか。あなたの経験など具体例も含めて500字程度で述べなさい。

インターネット上の情報は全て正しい——。ネットが身近な環境に育ち、デジタル端末を自在に操る子どもたちのそんな認識は、思考が偏るリスクと隣り合わせにある。

5月中旬、埼玉県戸田市の市立小学校であった特別授業。5年生の教室で、このクラスの児童37人がノートパソコンでネットの検索サイトを開いていた。

探していたのは、カモノハシの赤ちゃんの画像。半数超の20人は同じ1枚にたどり着いた。それは海外アーティストが作った精巧な彫刻作品の画像で、「正解」ではなかったが、ゾウやパンダと違ってカモノハシの赤ちゃんを目にする機会は、そうない。この画像を「本物」とした児童に理由を聞くと、多くが「検索結果で上の方に出てきたから」と答えた。

ネット情報の適切な活用を教える外部講師の安藤未希さん（37）によると、画像はアーティスト本人ではない第三者が、「カモノハシの赤ちゃん」としてSNS上で拡散した結果、サイトのアルゴリズム（計算手順）によって上位に表示されるようになった。男子児童（11）は「ネットの情報に間違いがあるなんて思わなかった」と驚く。

安藤さんは「出典を確認するという所作を身に付けることが大切だ」と訴える。

政府のGIGAスクール構想でデジタル端末の1人1台配備が実現した学校現場では、子どもたちが授業中もネットとつながる。滋賀県の小学校で教壇に立つ20歳代の女性教員は、端末から目を離さない児童がいて、チョークを持つ手が震える。

「先生なのに知らんの？」。昨年度に受け持った4年生のクラスで、男子児童の一人から繰り返し言われた。

クラスの中でも控えめな方だった児童が変わったのは、夏休み明けだった。授業中も端末を見続け、同級生にクイズを出すようになった。最初は「路面電車が走る都道府県はいくつあるでしょうか」といった程度だったが、やがて小学校では習わない数学や理科の問題へと進んだ。

ある日の授業中、男子児童は世界史の問題を女性教員にぶつけてきた。歴史上の出来事などを強い口調で解説するタレントユーチューバーそっくりの語り口で、大きな手ぶりと眉を上下させるしぐさまでそっくりだった。女性教員が教科書を開くよう注意すると、彼は一方的に正解を言い、ふんぞり返った。

男子児童は夏休み中、一人で家で過ごす時間が長く、その間に見続けたユーチューバーの動画に染まっていったようだった。女性教員は彼の出す問題を受け流していたが、しばらくすると他の児童たちも「先生って何も知らないんや」と言うようになった。提出物を出すよう言っても、整列を指示しても、反応しなくなった。

「ネットに強く影響を受けた子に、教師としてできることはなんだったんだろう」。女性教員は思い悩む。

ネットの情報を信じ込み、授業や学級運営に支障が生じる——。文部科学省は「問題が起きているのは一部の学校にとどまり、限定的との認識だ」とするが、対応に苦慮する教員は少なくない。

首都圏の公立高校に勤める男性教員（33）が昨年度に授業を受け持った2年生の中に、スマホを手放さない男子生徒がいた。

「今の中国はバブルが崩壊した日本と同じだ！」。中国の経済発展を扱っていた時、彼は急に叫んだ。ロシアのウクライナ侵略後は「日本も徴兵制になる」と主張。男性教員は発言の度に注意したが、「先生、ムキになっちゃって」とかわされた。

時々、発言の根拠を問うと、男子生徒は決まって「ネットで色んな人が言ってますよ」と答えた。後に、保守的な言動で知られる作家らのツイッターを複数フォローしていたとわかった。「アルバイト先で一緒に中国人や韓国人の悪口も増え、考えや価値観が偏っていくようで心配だった」という男性教員。「でも、どうやってそのことを伝えればいいのか。正直、難しかった」と思い起こす。

兵庫教育大の秋光恵子教授（学校心理学）は「知識や考えを主張する子どもは以前からいたが、ネットの普及で、その内容が偏向したり過激化したりしている。周りの子どもが感化されないよう、大人だけでなく教室全体で問題点を考えるようにする必要がある」と話す。

# ●総合型選抜 12月入試

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 サラームと同様の意味を持つ所作にはどのようなものがありますか。本文から二つ抜き出しなさい。  
問2 下線部「繊細になれ」とはどのようなことですか。20字程度で答えなさい。  
問3 身体接触の文化についてあなたはどのように考えますか。あなたの経験など具体例も含めて500字程度で述べなさい。

繊細な行為 関係を豊かに 板垣 明美さん（文化人類学者）

新型コロナウイルスが流行する以前から、日本では、ハグや握手など大人同士の身体接触の文化はあまり盛んでなかったと感ずます。体に直接触れるより、お辞儀やこまやかな言葉で親しみや敬意を表すことが多いです。

私が以前調査したマレーシアの地域では、互いの手のひらに触れた後、その手を自分の胸にあてるサラームというあいさつがあります。マレーシアは東西から人が行き来する文明の十字路で、言語も多様。人との関係に緊張感がある中で、「あなたを攻撃するつもりはない」と示し、短時間で打ち解けるためにこうした触れ合う所作が発達したのではないのでしょうか。米国や欧州でのハグや握手にも、同様の意味があると思います。

日本はそれらの国々ほどは多民族・多言語国家ではありません。常に知らない人との距離を測る必要はなく、他人を「自分とは関係のない人」とみなすことができず。だから満員電車や行列でくっついていても平気です。

ハグやサラームといった身体接触は、やみくもに行われているわけではなく、実は繊細な段取りがあります。手を出して相手を受け入れる準備をした上で、相手の出方を見て、望まないようなら別のあいさつに切り替えます。こうした作法は、小さい頃から文化として身につけています。

私が人に触れることの繊細さを実感したのは、社交ダンスの研究を通してでした。リトアニア人の世界チャンピオンと踊った時、これまでにない丁寧な接触を経験しました。私が体を起こす動きと、支えてくる手のひらの動きがぴったり合う。チャンピオンが私に一番言ったセリフは「繊細になれ」。私は日常の中で人に触れることに慣れていないから、緊張して一生懸命に踊るほど、相手の身体から発される情報を受け取れずに、動きが一時的になってしまっていたのです。

日本で日常の身体接触の文化が乏しいのは、長時間労働も関係するかもしれません。あいさつの言葉をかけながら握手のタイミングをうかがうには鍛えられた即興的なセンスが、ひとりひとりと繊細に触れ合うには時間が必要です。生活に余裕がないと、コミュニケーションも時短型になるのでしょうか。

また日本でも、対面で過ごしていれば無意識に手や肩が触れることはあります。しかしコロナ禍でそれさえできない経験をしたことで、私たちは触れられないことがどんなに寂しいのかに気がきました。触れることはいま見つめ直されていると思います。

誰かの体が繊細に触れてくれると、それだけで癒やされるものです。触れることを通じて人を身近に感じれば、より豊かで柔らかい人間関係ができるのではないのでしょうか。（聞き手・高重治香）

出典：「耕論」いま人に触れること『朝日新聞』2023年6月6日

# ●学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）

## 【小論文】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 下線部1「ちょっとそこまで」という言い方には、どのようなことが「におわされ」ているか、本文中より21字で抜き出  
しなさい。
- 問2 下線部2「話し合っても理解できずにいた」とあるが、その理由を本文中より64字で抜き出しなさい。
- 問3 日本の文化のローコンテクスト化について、あなたはどうか考えるか、400字程度で述べなさい。

日本は「ハイコンテクスト文化」だと言われることがある。日本語のコミュニケーションでは言語外の情報、すなわちその場の状況や相手の立場から意味を理解する必要がある。だからハッキリと言わず「におわせる」ことができる、という趣旨だ。

実はこの考えは学術的に実証されておらず反論も多いのだが、例えとして挙げられる事例はなんとなく納得させられてしまう。近所の住民同士が交わす「いい天気ですね、今日はどちらまで？」「ちょっとそこまで」<sub>1</sub>といった会話はまさに日本的だと思う。

これが欧米なら「どちらまで？」と聞くと「It's none of your business（あなたには関係ない）」と言われかねないが、日本では意味深な表情で「ちょっとそこまで」と伝えることで「あなたには言いたくない気持ちをくみ取ってね」と暗に言える。「一を聞いて十を知る」ことを求めるわけだ。私が生まれたイランもどちらかというといハイコンテクストの文化だと思うが、一を言っても四～五しか理解されないことはよくあった。

だが主観を承知で述べると、昨今、日本ではむしろハイコンテクストの逆、言語での伝達を重視する「ローコンテクスト化」が進んでいると感じる。パンデミックのせいで対面でのコミュニケーションが減ったせいだろうか。特に若者たちはLINEやメッセージで、短い文章で要点を伝えることにたけている。社内で隣同士の席で働いているにもかかわらず、チャットでのみ会話する若手社員もいるくらいだ。彼らのメッセージや求める回答は具体的で、私が会社員時代に困った上司の「あれ、やっという」といった「察する」ことを要求する言い方と大きく異なる。

日本が契約社会、成果主義に変わりつつあることも、ローコンテクスト化の原因ではないかと考える。友人に外資系企業で管理職を務める女性がいて、10代の娘が何に悩んでイライラしたり落ち込んだりしているのか、話し合っても理解できずにいた<sub>2</sub>。そこで娘の習い事の先生に相談すると「説明させるのではなく何を言葉で表現できないのかを探り、そのもどかしさに共感してあげるとよい」とアドバイスされたという。友人は自分の頭が凝り固まっていたことにショックを受けていた。

つまり長年企業で勤めるうち、毎年目標を決めてその達成具合でのみ評価される、白黒がハッキリつくローコンテクスト文化が染み付いてしまい、娘の多感な時期の、言葉にならない不安定な気持ちを理解できなくなっていたことに気付いたそう

だ。同様に、私の妻も私の曖昧な話し方を非常に嫌がる。イランでは常に相手を立てることが礼儀とされ、空腹でもまずは相手に「お腹すかない？」<sub>なか</sub>と聞く。相手は、この人はお腹がすいたんだと感じ、空腹でなくても「お腹すいたね」と答える。「何を食いたい？」「なんでもいいよ、あなた何を食いたい？」「あなたの食いたいものを食べよう」こういった会話が延々と続く。

このやりとりを妻は、時間の無駄だと言う。だから私が空腹で「お腹すいてない？」と聞いても妻は「すいていない」と答えるし、なぜ「お腹すいた、〇〇が食いたい」とストレートに言えないのかと怒る。

日本も変わってきたなあと感じるのである。よいことも悪いこともやんわりとオブラートに包んだようにして伝える、常に相手の気持ちを慮<sub>おもんばか</sub>り自己主張しない、そういう日本文化も私は好きだ。だがそれが必要以上の同調主義や忖度を生み、特に女性のようにそういった気遣いを言外に求め、補助的な役割を担わせられがちだったのかもしれないと思うと、ローコンテクスト化は日本社会の成熟化には必要な過程なのかもしれない。皆さんはどう思いますか？

# ●国際学部特待生入試

【英語ライティング】（試験時間：30分）

Smartphones have become an important part of everyday life. While they are very useful and convenient, it is also true that there are some problems associated with smartphones. Give an example of one or two problems and explain how you can solve them. You should write 200-250 words.

# ●一般選抜 D 日程入試

## 【総合問題】（試験時間：60分）

次の文章を読んで設問に答えなさい。

- 問1 下線部（ア）～（ウ）の漢字の読み方を書きなさい。  
問2 下線部（1）「安らぎ」と対照的な意味で使われている言葉を、文中から漢字2文字で抜き出さなさい。  
問3 下線部（2）に「距離感」とありますが、日本の茶室や温泉にはどのような距離感があると筆者は述べていますか。文中から6文字と15文字で抜き出さなさい。  
問4 他者との距離の取り方について、あなたはどのように考えますか。あなたの経験など具体例も含めて500字程度で述べなさい。

日本では人と人との距離による効果を、日常・非日常の空間に巧みに取り入れることで独特な文化を育んできた。例えば小間と呼ばれる四畳半以内の茶室。中でも利休が作ったとされる京都の待庵などは、わずか二畳のとても狭い空間である。なぜ茶室を極端に小さく作る必要があるのかと疑問に感じるが、座った際の五感の働きを加味すると小間の茶室の魅力が見えてくる。茶室の位置、亭主と客の座る場所はあらかじめ定まっている。相手の上半身が認識できて、顔の表情が強調されるが、密接距離のようにゆがんで見えるような圧迫はない。床の間は視線の置きどころとなり、飾る花や書画などによって小さな空間から大きな世界を想像することができる。このような視覚的效果に加え、四方の壁が迫ることで<sup>(ア)</sup>遮断された空間であることを肌で感じる。時には外から鳥の鳴き声や葉擦れの音が聞こえるかもしれない。しかし壁の外の世界は耳や気配で感じることはできるが、目には見えない。茶を味わいながら研ぎ澄まされた五感<sup>(イ)</sup>は体の中で一つになっていく。茶室でのくつろぎは日常を<sup>(ウ)</sup>逸脱したものであり、いわゆるリラックスとは違う。今、この時にお互いの存在を感じ、共に生きている喜びを実感することなのだ。

以前、アメリカ人の知人と会食した際に、彼がベトナム戦争へ出征した時の話になった。戦地での滞在が長くなり精神も肉体も行き詰まってきた頃、隊から数日間の休暇と近隣の国への旅行の許可が下りた。このことは休暇後の厳しい任務が待ち受けていることを意味していた。この旅行で初めて日本の温泉を訪れた時の事を、彼は年老いた今でも鮮明に覚えていた。洋服を脱いで湯船に入ろうとした時、浸かっていた老人が体を洗ってから入るのだと、わざわざ湯船から出て桶を使いながら洗って見せてくれた。その後老人は静かに元に戻り、誰とも目を合わさずに窓の外を眺めていた。他の三人の日本人も狭い空間にお互いが向き合わないよう、視線を合わさずバランスよく距離を保って入っている。彼が体を洗い終わったころ、見はからったように一人が湯船から出て場所を譲ってくれた。

当時、第二次世界大戦終戦からわずか二十数年後である。かつて敵だった国の人たちと、狭い湯船の中で共に<sup>(1)</sup>安らぎを味わっている。先週末までのベトナムと同じ地球上にいるとは思えないくらいに、違う次元に迷い込んだかのような感覚。彼は戦地での緊張とのギャップと相まって、涙が溢れ出てとまらなくなったという。

この侘び寂びた温泉宿での美しいひと時が、彼の人生に大きな転機を与えた。無事に自国へ帰還した彼は、それまで全く縁がなかった日本美術を学ぶ為に大学へ通った。卒業後はアメリカの大学で日本美術を教える他、美術館のキュレーターとして勤務し、<sup>(2)</sup>頻りに日本を訪れては様々な文化に触れるようになった。「茶室と温泉には素晴らしい日本的<sup>(2)</sup>距離感がある。世界が茶室や温泉のようであれば平和なのだ」と彼は言う。

たしかに茶室や温泉は清浄な環境と節度ある距離を保つという意味で、平穏な世を象徴している。小間の茶室の<sup>(3)</sup>入り口と呼ばれる小さな入り口は、腰を曲げないと潜って入ることができない。それはあえて刀を持ち込めない寸法に設計されているからで、憂世を離れ、敵味方であっても武器を捨て茶室の中では平等に茶を喫する。香で空気を清め、新品の木地桶に入れた水を用いて茶を点てる。

温泉でも水の清浄には気を遣う。お湯を汚さぬようにあらかじめ身を清め、お互いのプライバシーを保つ距離を計らいつつ、波をたてずにそっと入る。

平和な距離とは、些細な日常の動作や文化に育まれ人間の体や心に宿りながら、おのずと広がっていくのが理想ではないだろうか。距離は人と人のみならず国と国や、経済、政治、文化、環境などの、様々なことに影響を及ぼす。コロナ禍・コロナ後においても、距離を隔たりとしない世の中であることを願う。



# ● 出題意図

## 総合型選抜 9月入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、英語が母語話者以外にも広く使用されていることに関連し、世界諸英語という考え方、英語の学び方などについて志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

現在世界で使用されている英語は、非母語話者たちによるものも多く、その思考様式の表現手段として機能している。こうした現状を踏まえて世界諸英語についての理解を問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

自分の考えを表現するために英語を学ぼうとしているのに、自身の思考を放棄し、英米人の発想で話すこと。(49字)

#### 問2

イスラム教の信仰では未来は人間の力が及ぶ領域ではなく神アラーの掌中にあると考えられているため、未来についての約束はできないが、実質的には快諾の意思を表している。(80字)

## 総合型選抜 10月入試【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、世界の重要な通信インフラであるインターネットにおける情報を利用する際のリスクについて志願者はどのように考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

学校現場で起きている問題として、インターネットが身近な環境で育つ子どもたちは、ネット上の情報を全て正しいと認識してしまうこと、ユーチューバーの動画などに強く影響を受けてしまうこと、ネットの情報を信じ込んで知識や思考が偏向したり過激化したりしてしまうことなどが挙げられる。このような事例から志願者がネット情報の利用には様々なリスクが存在することについて理解しているのかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

#### 問1

本物のカモノハシの赤ちゃんの画像 (16字)

#### 問2

歴史上の出来事などを強い口調で解説するタレントユーチューバーの動画 (33字)

## 総合型選抜 12月入試【出題意図】

---

### 1. 問題選定理由

この試験問題では、日本を含めた世界各地の身体接触の文化について志願者はどのように考えるかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

日本とは異なり、諸外国にはあいさつなどにおける身体接触が盛んなところが少なくない。しかし、コロナ禍を経て、日本でも人間関係を豊かにする繊細な身体接触が見つめ直されているのではないかと問題文では述べられている。こうした身体接触の意味に関する比較文化的な考察について志願者が正しく理解しているかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

問1

ハグ 握手

問2

相手の身体から発される情報を受け取ること。(21字)

## 学校推薦型選抜(公募入試/指定校入試)【出題意図】

---

### 1. 問題文選定理由

この試験問題では、日本人がコミュニケーションを取る際の日本語の使い方に関する近年における変化を示した問題文を通じて、グローバルな影響のもとでのコミュニケーション方法の変容について志願者はどう考えるのかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

日本には言語外の情報を重視するハイコンテクスト文化が存在していたが、契約社会や成果主義の浸透とともに言葉での伝達を重視するローコンテクスト化が進行している。ハイコンテクスト文化では相手の気持ちを慮り自己主張しないということが日本文化の美点とされたが、同時に同調主義や付度、また、女性への言外の気遣いなどが求められた。一方、現在はそれらが失われつつある。日本で進むこのようなローコンテクスト化は、日本社会の成熟化に必要な過程のひとつであるとの筆者の主張を志願者が正しく理解しているのかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

### 正解例

問1

あなたには言いたくない気持ちをくみ取ってね (21字)

問2

白黒がハッキリつくローコンテクスト文化が染み付いてしまい、娘の多感な時期の、言葉にならない不安定な気持ちを理解できなくなっていた (64字)

## 国際学部特待生入試【出題意図】

---

ライティングのテーマとしては、高校生が比較的容易に考えを述べられる「スマートフォンに関わる問題」とした。英語の語彙、語法、文法に関わるスキルや、表現力、パラグラフ構成力など、表現力全般についての力を測る。

## 一般選抜 D 日程入試【出題意図】

---

### 1. 問題選定理由

この試験問題では、茶室や温泉といった日本の文化を例に、人と人との距離感について志願者がどのように考えるかを問うことにより、本学部が目指すグローバル人材としての資質を測る。

### 2. 内容理解

茶室や温泉という場を通じた人と人とのほど良い距離感に関する日本の文化の考察について、志願者が正しく理解しているかを問う。

### 3. 問題発見・課題解決力、表現力

志願者には、グローバルな視点に立った柔軟な発想に基づく問題発見・課題解決力、自らの言葉で表現する力、論理的に説明、展開する力を求める。

## 正解例

### 問1

(ア) シャだん (イ) いつだつ (ウ) ひんばん

### 問2

緊張

### 問3

「節度ある距離」と「お互いのプライバシーを保つ距離」